

選考結果総括表

府省庁名 国土交通省

役職		現任者				任命予定者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(独)水資源機構	理事長	金尾 健司	67	H30.4.1	国土交通省水管理・国土保全局長 (公財)リバーフロント 研究所代表理事 [OB]	岡村 次郎	60	国土交通省水管理・国土保全局長 内閣官房内閣審議官 (副長官補付)(命)内閣官房国土強靱化推進室次長 (一財)日本建設情報総合センター顧問、 建設情報研究所長 [OB]	応募総数 5名 ↓ 書類選考 ↓(3名) 面接 ↓(3名) 面接した他の候補者の 情報と併せ、検討の上、 任命権者が選任

※ 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載すること。

独立行政法人水資源機構役員名簿新旧対照表

役職	現任者						就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
公募 理事長	金尾 健司	67	H30.4.1	※1	R8.3.31	国土交通省水管理・国土保全局長 (公財)リバーフロント研究所代表理事 【公募OB】	岡村 次郎	60	国土交通省水管理・国土保全局長 内閣官房内閣審議官(副長官補付)(命)内閣官房国土強靱化推進室次長 (一財)日本建設情報総合センター顧問、建設情報研究所長 【公募OB】	国土交通大臣	R8.4.1
副理事長	富田 晋司	57	R5.10.1	4	R9.9.30	農林水産省農村振興局農村政策部地域振興課長 兼 内閣府地方創生推進事務局参事官(地域再生担当) 【役員出向】				理事長	
理事	濱田 厚史	57	R7.10.1	2	R9.9.30	総務省大臣官房審議官(財政制度・財務担当) 地方公共団体金融機構理事 【役員出向】				理事長	
理事	敷根 康文	60	R7.10.1	2	R9.9.30	(独)水資源機構本社財務 資産管理本部資産管理部長				理事長	
理事	安原 達	55	R7.10.1	2	R9.9.30	国土交通省国土技術政策 総合研究所社会資本マネジメント研究センター長 【役員出向】				理事長	
理事	安藤 昌文	59	R7.10.1	2	R9.9.30	(独)水資源機構総合技術センター所長				理事長	
理事	竜澤 宏昌	59	R7.10.1	2	R9.9.30	(独)水資源機構本社技師長				理事長	
監事	尾根田 勝	64	R4.9.1	※2	R8.8.31 (見込み)	東京都水道局技監				国土交通大臣	
監事	富樫 美加	63	R4.9.1	※2	R8.8.31 (見込み)	エヌ・ティ・ティ・コムチェオ(株)研修・人材事業部副事業部長 (一社)日本テレワーク協会 主席研究員				国土交通大臣	

※1 理事長の任期は、中期目標の期間の末日まで。

※2 監事の任期は、中期目標期間最後年度(R7年度)についての財務諸表の承認日(8月末)まで。

(独) 水資源機構理事長選任理由

本法人の使命は、産業の発展及び人口の集中に伴い用水を必要とする地域に対する水の安定的な供給の確保を図ることにある。

そうした組織にあつて、本ポストには、そのミッションとして、中期目標や中期計画の達成に向けて、業務の質と効率性を向上し、国の政策の実施機関としての法人が担う政策実施機能向上の最大化を図ることが求められる。

本件公募に対しては、5人の応募があり、選考委員会による書類選考で3人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、最も高い評価を得た者と他の候補者に対する評価を任命権者である国土交通大臣に提示し、これに基づき、国土交通大臣が岡村次郎氏を選任したところである。

任命理由は、国等において大規模組織のマネジメントの経験を有し、水資源政策全般に高度な知識と経験を有するなど、職務内容書で必要とされる能力、経験が十分にあり、かつ、本法人の短期的及び中長期的課題に対するビジョンが明確で、優れたリーダーシップを有することなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて最も高く評価されたことによるものである。特に同人は、水資源政策に関する高度な知見を有するのみならず、流域全体での関係機関との調整など実務にも精通し、防災・減災・国土強靱化の取り組みや、危機管理対応の経験があるという強みを持っており、国土交通大臣もそうした能力と情熱に大いに期待しているところである。

選考委員会の属性について

【国土交通省】

- ・独立行政法人水資源機構

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・大学教授	2名
・会社役員	1名
・弁護士	1名
・公認会計士	1名
<hr/>	
計	5名